

出張報告

報告日

令和6年4月2日

会派名・	民社友愛
報告者氏名	相澤 宗一、佐藤 和典
種別	<input type="checkbox"/> 調査研究（ <input type="checkbox"/> 行政視察） <input type="checkbox"/> 研修会 <input checked="" type="checkbox"/> 要請・陳情 <input type="checkbox"/> 各種会議
用務	東京電力ホールディングス株式会社 訪問
日時	令和6年3月27日（水） 15：30～16：30
場所 （会場）	東京電力ホールディングス株式会社（東京都千代田区内幸町 1-1-3）
調査項目等	柏崎刈羽原子力発電所の再稼働に関する要望
概要	<p>柏崎市議会、刈羽村議会において「柏崎刈羽原子力発電所の再稼働に関する請願」を賛成多数で採択したことを報告し、安全性向上と信頼回復に向けた取組みの推進を要望した。</p> <p>【小早川 智明 代表執行役社長】 立地地域において原子力発電所が存在することのメリットを実感していただくことが、共存共栄につながると考える。しかし、かねてから要望されている立地地域での発電事業（地元への電力供給）には課題が多い。</p> <p>まずは地域に根を張る企業であるために、令和8年の本社機能移転を機に、社員約300人がエネルギーホール跡地に建設予定の原子力・立地本部事務所に異動するとともに、田尻工業団地内に東京電力柏崎レジリエンスセンターの建設も決定した。</p> <p>東日本エリアの電力需給はひっ迫し、安定的な電力供給のために早期に戦線に復帰したい。そのためにも安全性向上と地域振興に資する事業展開を進めていく。</p> 
所感等	<p>【佐藤和典】 今回の要請を通じて、①柏崎市議会での過去55年の原子力発電に対する議論の歴史等の受け止め。②柏崎市の中で東京電力HDが市民権を得るための方策。③屋内避難など情報提供を含めたリスクとベネフィットとの関係。の3点について小早川代表執行役社長に率直に自分の考えを伝えることが出来た。</p> <p>【相澤宗一】 核物質防護に関する不適切な状況の改善を図り、IAEAなど第三者からの評価も受け、運転再開に向けた準備が整いつつある。このたびの請願の直近の対象号機は7号機であり、現段階において燃料装荷前の検査は全て終え、残るは核燃料が入った状態での機能検査となった。慢心することなく慎重に進めていただきたい。</p>